

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成19年度採択）

事後評価結果

番号	研究課題名	研究代表者	評価
19-1	凍結融解作用を受ける斜面の崩壊予知・災害危険度評価システムの確立	北海道大学大学院 教授 三浦 清一	B

<研究の概要> ※成果報告レポートより引用

凍結融解に伴う構成地盤材料の力学特性の変化に着目した、凍結融解・降雨複合型斜面崩壊現象の簡易災害危険度評価式を提案するとともに、寒冷地用地盤情報データベースを作成し、凍結融解作用を受ける斜面の災害危険度評価を行うシステムを開発した。また、現行の管理指標に加え地盤の凍上性と凍結深に影響する項目を新たな管理指標とする、積雪寒冷地用の斜面管理方法を新たに提案した。

<事後評価結果>

実用性や有効性の向上に向けて、凍結融解斜面の崩壊挙動に関する基礎的な研究のさらなる積み重ねが必要と考えられるものの、寒冷地における融雪災害に有益な斜面管理システムのプロトタイプが提示されており、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。

<参考意見>

- 崩壊予知・斜面災害危険度評価システムの精度・信頼性の向上を目指し、今回の取り組みを契機として、実務への適用に向けたさらなる研究を継続いただきたい。